

知っておきたい薬の知識 ③

薬の正しい使い方

錠剤、粉薬、カプセル、シロップなど、薬にはいろいろな形状があります。治療効果を高めたり副作用を防ぐために、それぞれ適切な形状で作られています。

錠剤、カプセル

胃では溶けず、腸で溶けて効くように設計された薬もあるので、むやみに噛んだりつぶしたりしてはいけません。

Q. どれくらいの量の水で薬を飲めばよいですか?

A. コップ1杯の水で飲むのが目安です。

少量の水では、薬がのどや食道に張り付いて炎症や潰瘍を起すことがあります。



高齢になると内臓の働きが弱くなるため、薬が効きすぎたり、思わぬ副作用が現れることがあります。慢性の病気を持っている方は**長期間薬の処方**が**変わらなくても**定期的に検査を受けましょう。